

	短期（すぐにでも）	中期（5年程度）	長期（10年程度）
ハード	共稼ぎの世帯でもきちんと子育てできる支援施設の増設 ⑤ 待機児童の解消 ④ 認定こども園の増設が必要 ① 保育園の利用時間の多様化 ③ 《第5回追加》一時預かり事業で未満児を受け入れる保育所を増やすべき ② 《第5回追加》児童会の定員拡大と学童保育自体の魅力の向上 《第5回追加》市全体として統一して学童保育の時間を延長すべき 《第5回追加》学童保育の運営主体によって受け入れ可能時間が異なり利用しにくい 《第7回追加》市役所の保育園担当部門と幼稚園担当部門を統合し、乳幼児期の子どもを総合的に考える部署とすべき 《第7回追加》認定こども園で保育園と幼稚園それぞれの制度がバラバラなので統一すべき 《第7回追加》新総合計画において幼児教育を視野に入れた施策づくりが必要 病児・病後保育の充実 ② 職場内保育園の開設 ① 《第5回追加》「子育て支援の街」を印象付けられる子どもたちの集えるシンボリックな建物 ①		
ソフト	働きながら子どもを産んで育てられる街 ⑤ 働いている母親をフォローするような行政の関わりが重要 ③ 《第7回追加》子育て支援センターをもっと利用しやすいように土日の開館日を増やしたり、平日の開館時間を延長する 《第7回追加》子育て支援センターをもっと利用しやすいように土日の開館日を増やしたり、平日の開館時間を延長する 《第7回追加》市役所の保育園担当部門と幼稚園担当部門を統合し、乳幼児期の子どもを総合的に考える部署とすべき 《第7回追加》認定こども園で保育園と幼稚園それぞれの制度がバラバラなので統一すべき 《第7回追加》新総合計画において幼児教育を視野に入れた施策づくりが必要 札幌で実施している保育ママの導入 ② 《第5回追加》障がいの疑いのある子への支援体制について、わかりやすく紹介すべき ④ 《第5回追加》障がい児保育の更なる充実 ② 子どもが安全に遊べるような公園の防犯対策 ③ 医療費負担の軽減 ③ 《第7回追加》江別で子どもを産んで、育てたいと思える医療体制づくりが必要 《第7回追加》保育園児童の高齢者施設への訪問による世代間交流 《第7回追加》保育園と地域の交流や、学生ボランティアとの交流	《第5回追加》札幌や道などの後追いではなく、江別の独自性のある子育て施策が必要 ③ 土日の予防接種の実施 ② 子どもの遊び場の充実、火が使える食事場所の整備	
ハートづくり	子どもをいっぱい産んで育てたいと思えるような街に ③ 《第5回追加》「障がい児保育」ではなく「特別支援保育」と名称変更してはどうか ② 《第5回追加》民間保育園へ保育士を加配		

※作業途中

	短期(すぐにでも)	中期(5年程度)	長期(10年程度)
ハード			
ソフト	江別に住み始めた人への江別の地域情報の発信 ⑧ 「江別」のブランドイメージをつくり、そのイメージを発信 ⑥ イベント、公共施設、大学開放などの情報の共有・ネットワーク化 ⑤ 江別に住んでもらうための生活情報の発信 ④ 《第5回追加》わかり易い子育て支援情報を市民にもっと提供すべき ③ 市長ブログなどによる政策の発信 ③ 市内イベント等の積極的な周知 ③ フェイスブック、ツイッターでのPR ③ 新聞、テレビでのPR ② 江別を知ってもらい遊びに来てもらうための情報発信 ① 学校開放の利用窓口のPR ① 公共施設の耐震化などを公表し、江別の安全性をアピール ① 安全・安心なまちづくりを進め、江別の「安全」をPR ① 《第7回追加》市立病院の出産費用が安く安全であるということをもっとPR	まち全体で何かに取り組み、その取り組みで江別をPR ① 知られていない海外の都市との姉妹提携による江別のPR 予防接種のような重要な情報は自治会回覧ではなく個別に情報発信 ① 札幌郊外より江別市の方が住みやすいと広報する ③ 市内の公園それぞれの特色やトイレの様子をまとめたマップづくり ② 小中学生の優れたスポーツ芸術活動の情報発信 ④	
ハートづくり	消防のレスキューマンによるPR ① ママさんのネットワークを市が情報発信に活用 ② 河川防災ステーションのネーミングを全国に募集し江別をPR ① 安全・安心をテーマにしたシティプロモートの実施 環境重視のまちづくりを進め、エコのイメージを発信 ① イベントの実施予定をゴミ収集カレンダーに記載 ① エベチュンの歴史をれんがの歴史にあわせてつくり江別をPR	情報発信源に情報図書館を活用 ①	

※作業途中

	短期（すぐにも）	中期（5年程度）	長期（10年程度）
ハード	学生街特区というのがあるてもよいのではないか ⑧ 小中高大の連携、中高一貫校やコミュニティ立学校などの設置 ⑥		小学校の統廃合は江別駅周辺の開発と同時に一体的に行うことが必要 ② 進学校が必要
ソフト	放課後の教育環境の充実 ② 教育特区による学力、スポーツ、音楽などで魅力的な学校づくり ⑪ 《第7回追加》農地や自然を活かして保育園での体験型の教育やイベントを充実させる 《第7回追加》子どもたちに対する江別の歴史教育の充実 《第7回追加》小学校の英語教育や、高校生が大学の授業に参加できるような教育特区の打ち出しの検討 《第7回追加》国際化へ対応するため、海外留学生を積極的に受け入れ、市内小中学生との交流の場をつくる 《第7回追加》保育園で英語教育を実施		学校単独ではなく、いろいろな機能を持った教育機関の集積 ① 統廃合よりも学校を中心としたまちづくりのネットワーク構築 ②
ハートづくり	特認校である野幌小学校の特色を活用 ① 学校の統廃合は子どもが困らないように配慮 ②		優秀な人材の確保 ② 教師の指導力の向上が必要 ① 進学校が札幌に劣るため、札幌に行ってしまうと江別に戻らない ①

※作業途中

	短期（すぐにでも）	中期（5年程度）	長期（10年程度）
ハード	地価を抑えて若年層にも購入しやすくする取り組みが必要 ②	市営住宅の改修による空室対策 ⑤ 大麻地区の空き地、空き家対策が必要 ⑤ 大麻地区の空き家対策 ③ 《第7回追加》 大麻の空き家対策として、安い家賃で大学生に住んでもらい、大学生と高齢者の交流による高齢者対策も実施	
ソフト		大麻地区の少子高齢化対策が必要 ④ 大麻地区の高齢化対策 ①	
ハートづくり			

※作業途中

	短期(すぐにでも)	中期(5年程度)	長期(10年程度)
ハード		《第7回追加》バスの外装を活用した情報発信 ミニFM局の開設 ③ 市内のバスの外装や停車ボタンの音などでエベチュンを活用 ① 天気予報の気温が低く表示されるため観測地点を移動 ② 往診診療の実施（豊幌） 《第7回追加》気象庁の気温観測点の発表では寒いまちというイメージになるので江別独自に気温を発表	
ソフト	転入者へ江別居住の理由を調査し、江別の長所を探る	札幌にない住環境の良さをさらに伸ばす ① 独自の取り組みで高校生の市外流出を防ぎ、市外から呼び込む 医療費助成の年齢の拡大 ①	子どもと定住する場合の家賃無料化 ① 婚活イベントを開催し、結婚した人に手当を支給 札幌市に住んでいるという方が聞こえがよい
【枠外】	大麻地区が将来消滅するのではないかという危機感が地元にある ①		
ハートづくり			子育て環境の充実に向けて、ただお金をつぎ込むだけは駄目
【枠外】	大学生はアルバイト先がないため札幌に住む ①		※作業途中

【新規分】

《第7回追加》市民体育館を子どもたちが自由に走り回って遊べるように開放

《第7回追加》学校の空き教室や体育館を学校で利用していない時間帯に就学前児童に開放

《第7回追加》情報図書館の月曜開館

《第7回追加》若者の雇用を創出できる大型の農業生産法人

【枠外】

《第7回追加》公費による予防接種の充実（水痘、おたふくかぜ、B型肝炎、ロタウイルスなど）

《第7回追加》予防接種（子宮頸がん、ヒブ、肺炎球菌など）の補助の継続

《第7回追加》保育料の値下げ

《第7回追加》出産祝い金（一時金）の創設

《第7回追加》学童保育の無料化

《第7回追加》少子化対策として市内小中学校の給食費の無料化を実施